



# けやき



No.6

甲府市立南中学校  
令和3年 9月 6日  
文責 渡 邊 豪

## 熱闘 関東大会・全国大会

第69回甲府市総合体育大会が6月18日（金）、19日（土）に開催され、各部・個人が出場し、これまで日々の練習で積み上げてきたものを、すべて発揮すべく全力で試合に臨み、各会場で熱戦が展開されました。その中で、第72回山梨県総合体育大会へと駒をすすめ県大会を戦い、その結果関東大会への出場権を獲得し、関東大会で戦った部及び個人選手について紹介します。

個人では特設部の新体操部員として、群馬県高崎市の高崎アリーナで行われた大会に出場した3年の三井春奈さん、同じく特設部の水泳部員として、神奈川県横浜市の横浜国際プールで行われた大会に出場した2年の大森理央さん、そして、山梨県総合体育大会において優勝し、東京都三鷹市の三鷹市大沢総合グラウンドで行われた大会に出場したソフトボール部です。

関東大会の結果は、新体操部の三井春奈さんは、クラブとリボン2種目に出場し、クラブ9.050、リボン7.950で総合得点17.000と健闘しました。水泳部の大森理央さんは、200m平泳ぎに出場し、2分28秒88で6位と健闘しました。ソフトボール部は、山梨県1位代表として関東大会に出場し、見事準優勝を飾り全国大会に出場しました。

第43回全国中学校ソフトボール大会が、茨城県水戸市総合運動公園軟式球場を会場に開催され、ソフトボール部が関東の2位代表として出場しました。1回戦は、兵庫県代表の神戸市立広陵・平野中学校と対戦し6-2のスコアで快勝しました。2回戦は、愛知県代表の岡崎市立城北中学校とベスト8進出をかけて対戦し、延長での接戦を制して4-3で勝利しました。準々決勝はベスト4進出をかけて、広島県代表の広島市立翠町中学校と対戦し、0-2で惜敗しました。南中が敗れた広島市立翠町中学校が準決勝、決勝と勝ち進み全国優勝を勝ち取りました。

甲府市中学校総合体育大会、山梨県中学校総合体育大会、関東中学校総合体育大会、全国中学校体育大会とつながっていますが、どの段階まで勝ち進んだかの違いはあれ、南中学校の各部の選手全員がそれぞれに、これまでの練習に精一杯取り組み努力を重ねてきたはずですが、楽しいときばかりではなく、苦しいときやもう辞めてしまいたい、と思い悩んだ経験がある人もいると思います。様々な思いを抱えながらやり遂げたことに、大きな価値があると思います。部活動を通して様々な経験をし、様々なことを考えたはずですが、それが今後の生き方につながってくれることを願っています。

◎今夏の総合体育大会に参加した各部を代表して、全国大会ベスト8という素晴らしい結果を残した、ソフトボール部主将の新谷月野さんに思いを綴ってもらいましたので紹介します。

新チームが始まり、代々先輩方が目指してきた関東大会を私たちも目標にしました。秋の新人戦で優勝し、念願の関東大会へ沖先生と内田先生を連れて行くことができました。しかし、3月の関東大会では初戦敗退。全員目の悔し涙が浮かびました。そして新しくみんなで掲げた目標が県内での「三冠達成」と「全国大会出場」でした。全員が本気で全国大会に出たいと思い、全員が本気になって練習に励んでいました。気持ちがすれ違ったり、何十回も何百回も注意されたりしました。その度にみんなで話し合いをかさね、自分たちの目標と向き合ってきました。





そして5月の選手権を優勝し、挑んだ最後の夏。県総体の決勝戦は苦しい試合になりましたが、今までやってきた厳しい練習をみんなで乗り越えた成果が出て三冠を達成。そして迎えた関東大会。3月に味わった初戦敗退の悔しさを胸に、チーム一丸で戦った結果、目標の全国大会出場を決めました。また、春に負けた東京代表と準決勝で再戦し、リードされる展開でもみんながあきらめずに戦った結果、延長戦で逆転勝ちすることができました。春の悔しさを晴らすことができた関東準優勝でした。



そして新たに目標を全国でベスト8と定め、短い練習時間でしたが必死に取り組みました。結果、準々決勝では2対0で敗れましたが、二回戦を勝利し、目標のベスト8に入ることができました。今までみんなで頑張ってきてよかったと心からの嬉しさと達成感が残りました。

今まで支えてくれた沖先生、内田先生。また、保護者の方々、先生方、たくさん応援して下さった方がいた

からこそその結果だと思います。コロナ禍の中大会に出場させていただきありがとうございました。この仲間たちと最高の夏を過ごさせていただいたこと、すごく感謝しています。

